

第3次下諏訪町観光振興計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

- 1 意見の募集期間：令和6年2月14日（水）から令和6年3月15日（金）
- 2 資料の公表場所：町産業振興課観光係窓口での閲覧、町ホームページへの掲載
- 3 周知方法：町ホームページへの記事掲載、町議会全員協議会説明、報道各社の記事掲載
- 4 意見の受付方法：専用フォーム、電子メール、FAX、郵送又は担当窓口で受付
- 5 募集結果：意見提出者3名 提出5件

番号	意見の要旨	町の考え方
1	<p>(6 ページ)</p> <p>目的「住んでよし、訪れてよしの観光都市しもすわへ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住んでよし」を挙げているが、住民の多くが望んでいるのだろうか。 ・旧矢崎商店へのパブリックコメントは、否定的な意見が多数見られた。給食費の値上げに伴う子育て世代の負担を減らすため、無償化を願う多くの署名が集められた。 町の財政状況を考慮し、住民目線を最優先してほしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の「住んでよし、訪れてよしの観光都市しもすわへ」を実践するためには、観光事業者だけでなく、本計画を広く周知し、ご理解いただくことで、住民や地域の事業者の皆様と共に「持続可能な観光地域づくり」を推進したいと考えています。 ・旧矢崎商店については、町の活性化を目指していくための事業であり、歴史と文化を後世に残していくことが、独自性を高め、他の自治体との差別化にもつながり、その結果として、町全体の利益につながることを考えています。また、コスト面含め、中長期的な視点で推進しています。
2	<p>(29 ページ)</p> <p>町の景観保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春宮前のがらくた市は、大変景観を損ねている。なぜあの場所が放置され、道に面して危険でもある。あの土地を「おもてなしのスペース」に変更し、観光客をもてなす必要があると思う。 国道20号の鳥居から春宮までは参道でもあると思われるので、下馬橋から春宮は特に美しい景観を意識して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春宮周辺は古くからの門前通りであり、諏訪大社をはじめ万治の石仏等に来訪する多くの観光客をお迎えしている場所となります。 よって、春宮前は、このエリアのまち歩き拠点として、大切な場所であると認識しておりますので、景観やお客様の導線を含め、地域の皆様や諏訪大社とも協議を行いながら、観光客の受け入れ環境についても検討したいと考えています。 また、下馬橋から春宮含む町全体については「下諏訪町景観計画」に基づき、景観に配慮したまちづくりを引き続き推進します。

番号	意見の要旨	町の考え方
3	<p>「住んでよし」を実現するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下諏訪の魅力をもっと掘り下げることが必要と思う。既存の「黒曜石の現地見学」は、宿泊セットでないと、申し込めない現状があるが、月に一度くらいでも「歴史ツアー」を町民向けに企画してほしい。 ・町内観光施設を住民や仕事で来ている人は半額で入館できるとか、誰かを連れてきたら、無料のサービスをするのはどうか。ガラガラなのは寂しい。町の人がこの町に誇りを持ち、お迎えし、住んでもらいたくなる町民サービスを充実してほしい。 特に若い世代を呼び込むには「自然の魅力」をもっとアピールできる。子どもに優しい子育てしやすい下諏訪町となり、児童館的な場の実現ができれば良いと切に願う。 ・インバウンド需要を考えると子どもたちの英語力に期待できる。「おもてなし」を各学校で授業の中に取り入れてもらうのも面白いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・星ヶ搭遺跡の現地見学については「国指定史跡・黒曜石鉾山と縄文文化に出会う旅」と称した、日帰りプランの設定もしているところですが、町民の皆様にも町の歴史文化を知っていただける機会となるように、今後、町民向けプランの設定も検討したいと考えています。 ・優待に関しては、三角八丁のイベント等において、無料入館等を実施しています。 また、新たに町に転入された方にも観光パンフレット等をお渡しし、町を知ってもらえるような取り組みを実施しておりますが、より良いサービスを提供できるよう検討したいと考えています。 ・インバウンド旅行者等の観光客の受け入れについては、子ども達も含め「おもてなし力の向上」を図る取り組みの一つとして検討を行い「持続可能な観光地域づくり」に繋がるよう推進したいと考えています。
4	<p>(29 ページ)</p> <p>景観について具体的検討をお願いしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観についてこれから検討するのかもしれませんが、具体的な内容がない。観光は、まずは人が訪れたいくなる独自の景観が重要に思われます。①下諏訪町のどのエリアについて、②選択肢なりの提案をしてどのような景観を整えていくのか、③景観を整えるためにどのような施策をとるのかわかりやすく示す必要があると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観に関しては、本計画（P29）「3-1町の景観保全や文化遺産の保護及び活用」の方針に記載しているとおり、町では「下諏訪町景観計画」を定めています。 また、下諏訪町ランドデザイン策定事業において目指すべき姿を示す基本構想、要所図（イメージ）の策定を進めています。 これらの取り組みを具体的に推進するなかで、景観等についても、わかりやすく周知できるように努めます。
5	<p>下諏訪の良いところを発信すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下諏訪町の現状について、あくまで主観であり感想でしかないですが、下諏訪をいいところと思っているのが主に移住された方で、生まれながらの住民がそこまで思っていない、あるいは思っていたとしても口に出さな 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに開業する移住者もいる中で、移住者の外目線を活かし、新しいアイデアや取り組み等で町を活性化していただいているものと考えます。 一方、住民の皆様は、古くからの歴史や文

番号	意見の要旨	町の考え方
	<p>い雰囲気があると思います。結果、移住された人たちが個人のお店やイベント参加、SNS発信を通じて下諏訪の魅力を伝えていますが、元からの地元住民がそこまで盛り上がっていないと感じています。</p> <p>地元民に新しいお店や作家さんを紹介し、地元民を楽しませることをせずに外からの流入に力を入れると結果分断が進んでしまう恐れもあると思います。</p> <p>地元民への情報発信、車でなく徒歩で楽しむ町歩きを習慣づけが大切だと思っています。</p>	<p>化を熟知し、地域の事柄に精通しており、幅広い知見を有しているものと考えます。</p> <p>観光においては、移住者と住民が、交流や観光事業を通して、協力することにより、互いの環境や価値観の違いを認め合い、新たな町の魅力の発見や、地域の誇りを醸成する機会となるように取り組むとともに、移住者の店舗も含む事業者情報や、イベント情報についてホームページやSNS等を活用して、発信していきます。</p> <p>「持続可能な観光地域づくり」を実践するため、まずは、観光に関わる一部の事業者だけでなく、住民の皆様も含む地域の皆様のご協力もいただきながら観光振興を推進したいと考えています。</p>